

春 蘭



発行日：令和6年1月29日(月)

発行責任者：渡辺 博明

学校教育目標：夢に向かって進み、共に幸せな未来を拓く



岩根小ホームページ

自分の「目標」目指して

令和6年も2週間が過ぎた1月17日(水)の春蘭タイム。各ブロックの代表3名による、3学期の目標発表がオンラインで行われました。

今回の代表は、F・Kさん(1年男子)、S・Kさん(3年女子)、F・Kさん(5年男子)です。

1年生は、「漢字を丁寧に書きたい。なわとびが上手になりたい」と一年生らしい、率直な思いを伝えました。「自分の力を伸ばしたい」という思いがひしと伝わってきました。

3年生は、「長縄で200回を跳びたい」と伝えました。自分の目標と学級の目標が重なり合う、集団意識の高まる中学年ならではの目標です。みんなでがんばれ!

最後に、5年生は、自分で書いた今年の一文字「進」を見せながら、「進んで学習する、進級を意識してがんばる、1年生に進んで優しくする」と、伝えました。自分の目標を「進」になぞらえてしっかり伝える姿に、スピーチ力と共に心の成長を強く感じました。

いわねっ子全員が、自分の目標に全力で励むよう支えています。



目標を堂々と伝えて

さあ、見せよう! 岩根の底力 ~県なわとびコンテスト~

いわねっ子が、今、学校全体でがんばっていることがなわとびです。12月上旬からなわとびを主に冬場の体力作りを行っています。2月に行われる「なわとび記録週間」が1つのゴールとなります。また「県なわとびコンテスト」にも取り組み、短なわ、長なわの記録はWEB上で更新しています。県内の多くの学校が参加していて、遠く離れた地の小学生と競い合いながら、記録の向上を目指しています。個人でもチームでも、上位ランカーとして名を連ねるいわねっ子が多数います。大切なことは、学校全体で取り組むということ。ムーブメントが学校を一つにしていきます。

長なわとびでは、お互いに「がんばって!」「ドンマイ!」と声を掛け合いながら練習に励む姿も見られます。「みんなで県一位を目指したい」「みんなでその夢叶えよう」学級集団で一つの目標を目指すことで、学級の絆も深まっています。汗だくになって縄を回している先生もいます。その先生の思いに応えようと、子どもたちは顔を真っ赤にして縄に飛び込んでいきます。



子どもも教師も一丸となって

「〇〇回、跳ぶ」という目標と共に、大切にしていることは目的です。「自分への挑戦」「学級の団結」そんな目的を忘れずに、練習を積み重ねています。短縄跳び上位を争う高学年の子が言っていました。「みんなに県1位を見せてあげたいんです」。もはや、自分だけの種目じゃないことが伝わってきました。子どものひたむきさに出会うことは、何よりの幸せです。

県なわとびコンテストの最終日は、明後日の1月31日。各記録は、QRコードからもご覧いただけます。最後まであきらめないのが、いわねっ子。子どもたちの頑張りにエールを送ってください。



県なわとびコンテスト

サポートに感謝 ～のこぎり奇贈・橋本建築様より～

3・4年生は、図画工作科の学習で、のこぎりや金槌を使って工作に取り組んでいます。様々な形に木材を切り、自分のイメージを形にしていける楽しい学習なのですが、のこぎりや金槌は使い方を間違えると大けがにつながることもあります。



心強いサポート

そこで、今回、岩根地区で建設業を営む橋本建築様に学習サポートをいただいています。子どもたちは、親しみと感謝の気持ちをもって「大工さん」と呼んでいます。たくさんのアドバイスをいただき、子どもたちは安心して活動しています。何より、大工さんは教え上手。「のこぎりの使い方上手だねえ」「釘がまっすぐ打ててるよ」とたくさんのお褒めの言葉をいただき、どんどん用具の使い方が上達していきました。

今年度、保護者の皆様、地域の皆様、さらには地域企業の皆様と、学習サポートの幅が広がっています。サポートを通して、「〇〇さんとこの孫だない」など、岩根小の子どもたちと顔の見える関係ができていることもうれしく思っています。人と人とのつながりは、学校にとってかけがえのない財産です。これからも、地域の「人、もの、こと」に学ぶ、「いわねっ子ふるさと学習」を丁寧に推進していきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、今回、橋本建築様より、子どもたちのためののこぎりを寄贈いただきました。お心遣いに心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



寄贈いただいたのこぎり

学校評価アンケートから ～その2～

今回、学校評価アンケートをもとに「徳」についての考えをお伝えいたします。

1 学校評価結果(4.00が最大値) <3.4以上(+0.1以上) 3.1以下(-0.1以下)>

	評価項目	児童(R4比較)	保護者(R4比較)
徳	1 豊かな人間関係の醸成	3.64(+0.11)	3.30(+0.09)
	2 基本的生活習慣の確立	3.39(+0.14)	3.17(+0.05)
	3 将来の夢や希望をもつことのできる教育活動	3.44(+0.19)	3.09(+0.05)
	4 特別支援教育の充実	3.33(+0.09)	3.28(+0.09)

子どもたちの自己評価が向上しています。友達を大切にする気持ち、挨拶や言葉遣いについて、子どもたちなりに意識し、改善を目指していることが伺えます。保護者の皆様は「豊かな人間関係の醸成」や「特別支援教育の充実」について、昨年度より、向上を感じていることも伺えます。

「夢や希望をもつ教育」については、「子どもたちの意識の変容」と「保護者の皆様の実感」に差が見られました。「夢や希望をもつ教育」について、学校からもっとお伝えすべきであったと反省しています。今後、今まで以上に、子どもたちが夢や希望に向かって励む姿を学校・学級だよりやホームページ、各種懇談会等でお伝えしていきます。今後とも、よろしくお願いいたします。

2 保護者の皆様からのご意見 ～徳の項目について

○ 毎日「学校が楽しい」と言って通っています。 ● 汚い言葉や暴力で傷ついています。

一見、相反するこの2つの意見は、岩根の子どもたちの実情でもあります。今年度、昨年度以上に「学級経営(学級の人間関係づくり)」に力を入れてきました。人を大切にすることは、言葉を大切にするところでもあると繰り返し伝えているところです。また、暴力に対しては「絶対に許されない」という毅然とした指導を行い、暴力行為については、ご家庭にも事実を伝え、共通理解に立った指導を行っています。

今後も、一層、学校生活に安心や楽しさを感じる子が増えるよう、教育活動を丁寧に行っていきます。